



三菱電機パッケージエアコン別売部品
多機能ケースメント PAC-SK76TM
据付工事説明書 (室内ユニットの据付工事説明書を併せてお読みください)

安全のために必ず守ること

- 据付工事は、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みの上、確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。



警告 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。



注意 誤った取扱いをしたときに、軽傷又は家屋・家財などの損害に結びつくもの。

- 据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認してください。この据付工事説明書は、お客様で保管していただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくように依頼してください。



警告

据付けは、販売店又は専門業者に依頼する。

- お客様ご自身で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災などの原因になります。

ポリ袋は幼児の手の届くところに置かない。

- 頭からかぶるなどしたときに口や鼻などをふさぎ窒息する原因になります。

据付工事は、この据付工事説明書に従って確実に行う。

- 据付工事に不備があると、水漏れや感電・火災などの原因になります。

据付(移設)・電気工事をする前に



注意

次の場所への据付けは、避ける。

- ・可燃性ガスの漏れるおそれがあるところ
- ・硫黄系ガス・塩素系ガス・酸・アルカリなど、機器に影響する物質の発生するところ
- ・機械油を使用するところ
- ・車両・船舶など移動するものへの設置
- ・高周波を発生する機械を使用するところ
- ・化粧品・特殊なスプレーを頻繁に使用するところ
- ・海浜地区など塩分の多いところ
- ・積雪の多いところ

- 性能を著しく低下させたり、部品が破損したりする原因になります。

外気取入れをする際にダクトファンを使用する場合は、必ず空調機との連動制御にする。

- ダクトファンの単独運転は露たれの原因になります。

ドレン配管は、据付工事説明書に従って確実に排水するよう施工し、結露が生じないよう断熱処理すること。

- 配管工事に不備があると、水漏れし、天井・床その他家財などを濡らす原因になります。

電気配線は、電流量に合った規格品の電線を使用すること。

- 漏電や発熱・火災などの原因になります。

風量設定をする。

- 設定に不備があると風量が低下し、能力の低下及び露たれや騒音が発生する原因になります。

冷媒配管の断熱は結露しないように確実に施工。

- 不完全な断熱施工を行うと配管など表面が結露して、露たれなどが発生し、天井・床その他大切なものを濡らす原因になります。
- 接続部の断熱施工は、気密試験後に行ってください。

1. 部品の確認 (この箱の中には本据付工事説明書の他に下記部品が同梱されています。)

品名	① 多機能ケースメント	② 座付ネジ(黒色)	③ ネジ	④ 化粧パネル固定用金具
個数	1	4 M5×0.8×25	8 M5×0.8×12	4 断熱材付き
形状				

お願い

- (1) 外気取入れには、多機能ケースメント①の他に別売の外気取入ダクトフランジを手配してください。また、現地手配の押込用ファン、ダクト、粉塵処理が必要です。外気取入量は、室内ユニット風量の20%以下としてください。
※ 別売のパワー脱臭フィルター/高性能フィルターエレメントを取り付けた場合でも、外気取入れは可能です。
- (2) 多機能ケースメント①の取付けは、この据付工事説明書の手順のとおりに行わないと、冷媒配管・ドレン配管・電気配線工事ができない場合があります。

2. 室内ユニットの据付け

- 室内ユニット付属の据付工事説明書を参照し、据え付けてください。

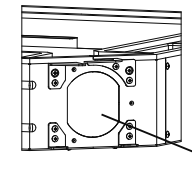
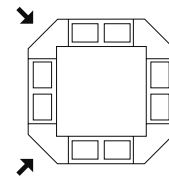
3. 多機能ケースメントの取付け (単位:mm)

取付け前の準備

- 吹出口数を変更する場合は別売吹出口シャッタープレートは、室内ユニットに取り付けますので、多機能ケースメント①を室内ユニットへ取り付ける前に作業します。
※ 高性能フィルター、パワー脱臭フィルターと組み合わせる場合、2方向選定はできません。
- この多機能ケースメント①は下図のように4箇所どの方向からも外気取入れが可能です。あらかじめ1箇所又は2箇所の外気取入方向を選定し、多機能ケースメント①にロックアウト穴を開けます。

— 外気取入用ロックアウト穴位置 —

— ロックアウト穴開け加工 —



この板金をとります

- ダクトフランジは別売の外気取入ダクトフランジを必ずご使用ください。

室内ユニット配線工事

- 多機能ケースメント①を取り付ける前に必ず配線工事(内外接続線、リモコン線など)を実施してください。
※ 多機能ケースメント①取付け後の配線工事は難作業となります。

【仮止め】 ※ 必ず2人で作業を実施してください。

- 室内ユニットの右図の位置(ドレン配管コーナー部とその対角)に付属の座付ネジ②を2本固定します。
- 多機能ケースメント①の内側に貼られている取付位置確認用ラベルに従って多機能ケースメント①の向きを合わせます。
※ 向きが正しくない場合、破損したり、風漏れや露たれの原因になります。
- 多機能ケースメント①のダルマ穴部を座付ネジ②に引っ掛け、仮止めます。

固定

- 仮止めた座付ネジ②2本と、残りの座付ネジ②2本を仮締めし、多機能ケースメント①の位置が合ったのを確認した後、座付ネジ②を固定します。

お願い

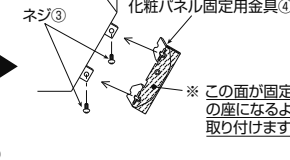
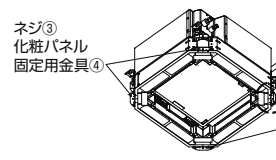
- 4箇所の座付ネジ②の仮締めをしてください。仮締めせずに固定すると、座付ネジ②が破損したり、風漏れの原因になります。

お願い

- 座付ネジ②を締め付ける際にはトルク2.8N・m~3.6N・mの範囲内で締め付け、インパクトドライバは絶対に使用しないでください。部品が破損する原因になります。

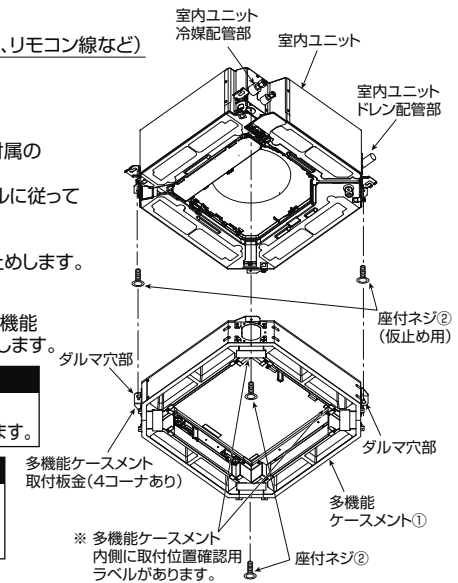
化粧パネル固定用金具の取付け

- 多機能ケースメント①の各コーナー部に、化粧パネル固定用金具④4個をネジ③8本にて固定します。(下図参照)



【据付高さの調整】 ※ 外気取入れをする場合は、ダクト取付け前にこの作業をすることを推奨します。

- 右図のように化粧パネル付属の据付用ゲージにて、天井面と多機能ケースメント①の高さ位置を再調整します。



必ず17~22の範囲内とすること。この範囲が守られない場合、故障などの原因になります。

